

1. 基礎情報

自治体名	神奈川県綾瀬市
担当部署名	市民環境部市民活動推進課
電話番号	0467-70-5657
ホームページ	https://www.city.ayase.kanagawa.jp/index.html



多言語での意思疎通を可能にする多言語音声翻訳システム

在留外国人数	令和4年8月現在	4,370	人	住民基本台帳人口に占める割合	5.2	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ベトナム)	1,116	人	2位 (スリランカ)	836	人
				3位 (ブラジル)	608	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
具体的な取組内容	取組のポイント	一元的相談窓口を設置し、市役所窓口や学校教育現場での言葉の壁を低減している。 市役所に一元的相談窓口を設置し、窓口対応等における言葉の壁を低減している。 ・通訳サービスとして、R4年度4月より、外国語通訳コールセンター(8言語)、翻訳システム「KOTOBAL」を用い、タブレットを使用したテレビ通訳(8言語)と機械通訳(30言語)および行政通訳員(4言語)の配置を行うことで言葉の壁を低減している。 ・R4年度10月から出入国在留管理庁より月に1回相談員を派遣し、在留手続きや在留資格に関する外国人市民からの相談を受け付ける「在留手続・在留資格相談」を実施する。 ・小中学校については、すべての小中学校(15校)に音声機械通訳を導入している。

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	日本語教育の推進	
具体的な取組内容	取組のポイント	日本語ボランティア教室への支援と連携により、日本語学習環境の向上に取り組んでいる。 外国人市民の自立と活躍を促進するために、最大の課題である言葉の壁の解消に向けて、日本語ボランティア教室への支援と連携により、市内における日本語学習環境の向上に取り組んでいる。 ・財政支援の実施 団体への財政支援を目的に、1団体につき年間10万円を限度に事業費を助成(助成率1/2、新設団体のみ初年度は2/3) ・会場の提供 活動場所として市内公共施設を希望する団体には、市が会場を確保し提供(条件あり) ・日本語学習教材の提供 段階的で効果的な学習支援を目的に、1団体につき年間1万円以内の日本語学習教材を提供 ・講師養成講座の実施 日本語ボランティア講師の確保及び、既存講師のスキルアップを目的に、講師養成講座を実施 ・日本語教室横連携会議の実施 各教室が抱える課題のほか、独自の強みやノウハウを相互に共有し、良質な学びの場を安定的に提供することを目的に、関係者が一堂に会する横連携会議を実施